

つながろう！ J A P A N ~ P S W

みちのくホットライン@JAPSW 第40号



東北復興 PSW にゆうす

東日本大震災から8年がたちました。今回は2019年3月2日、3日に開催された「復興支縁ツアー in 福島」のご報告を中心にお届けします。

被災地の今、そして縁をテーマに開催された「復興支縁ツアー」も今回で7回目となり、25名の方々にご参加いただきました。今回も縁の広がり、そして深まりを感じる、そんなツアーだったと思います。

復興支縁ツアー in 福島 ツアー行程報告

ご参加の皆さま、福島県士会の皆さま、ご協力ありがとうございました☺

1日目

12:00 福島駅集合 そしてバス移動
14:00 勉強会 (福島 いこいの村 なみえ)
18:00 懇親会
21:00 ホテルチェックイン
(ハタゴイン 福島 広野)
楽しい二次会♪

2日目

9:30 出発
10:00 勉強会 (高野病院)
12:00 出発
昼食 (小名浜 まるかつ)
14:00 買物 (いわき・ら・ら・ミュウ)
15:00 順次解散



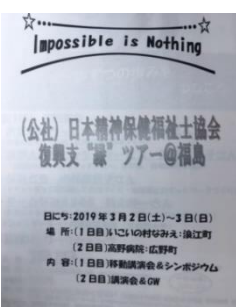
1日目は、福島駅に集合し、初日の会場である、福島いこいの村なみえに向かいました。バスでの移動中、NPO 法人コーヒータムの軌跡をたどる DVD を視聴し、ツアー参加された同法人理事長の橋本由利子さんのガイドを伺うことが出来ました。勉強会&ワークショップでは、浪江町・南相馬市小高地区の地域包括支援センターの方々をインタビューに、それぞれの地域での取り組み、実践を4名の方々に報告していただきました。会場では福島の事業所の物販も行われました。懇親会では、美味しい食事、そして美味しいお酒を飲みながら、楽しく語り合いました。

2日目は高野病院を訪問しました。高野病院理事長の高野己保さんから、福島第1原発から22kmの距離に建つ病院の中で、当時入院されていた方の健康と命と尊厳を守り続けた病院の取り組み、そこに携わる職員の様々な思いを報告していただきました。震災後に福島に移り、そして高野病院

に就職したPSW 水野敬貴さんとの出会いもありました。小名浜 まるかつで昼食を食べた後は、いわき・ら・ら・ミュウにてお土産を購入し「いわきの3.11 東日本大震災展」を見学し、ツアーは無事終了しました。

ツアーを通じて、今も震災は続いており、そこで生活している方々の暮らし、想いを改めて感じることができました。刻々と変化し続ける中で、どの方も「自分で考えて、決めて、行動する」ことに真摯に取り組んでおられました。これからも一緒に考え続ける必要性や、今、自分の置かれている状況・環境・立場の中でも実践できることがあることを実感できた、収穫の多いツアーとなりました。

～ ツアー開催にあたり、多くの皆さまのご協力、本当にありがとうございます。～



～皆さんで記念撮影📷!!～

～ツアー参加者の声～



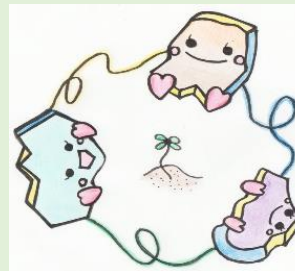
食べて、飲んで、語って、笑って☺

印象に残るのは、放射能汚染から農業が出来なくなり、デイサービスを立ち上げた渡邊さんの話です。調理や農作業など、自宅で止められること=かつての「日常」を、デイサービスで実現されているとのこと。東京で避難者支援ボラをされた参加者さんからも、お茶会で福島のおばあちゃんがお漬物してくれると聞きました。『日常』の営みと人とのふれあいが人を癒し、励ますのだと実感した旅でした。うん、私もがんばろう！
(田中悦子さん/愛知県支部)

今回で3回目の参加です。行く度に新たな事実を知り、現状に泣きたくなり、でも、現地ではがんばっている人々に元気をもらい、懇親会で飲み、食べ、語り、考え、なかなか忙しい2日間です。東北に住んでいますが、近いようで遠い3県。今の自分にできるのはツアーで聞きし、考えたことを周りに伝えること。今後も都合のつく限り参加したいと思っています。今、これを読んでいる皆さん、来年、現地でお会いしましょう！
(吉田久美子さん/青森県支部)

委員会のマスコットキャラクター 「えんが〜る」のご紹介♪

岩手の
「岩(がん)ちゃん」



福島の
「福ちゃん」

宮城の
「みやざん」

毎回、備災についての「東北メソッド」をしっかり教えてもらっています。また、人生が変わるような過酷な体験をした方々のお話を聞くことで日々の自分を振り返り、次の1年に生かすという事をしています。さらに、美味しい食べ物やお酒を楽しんでいます。頭も心も身体もパンパンに満たされる2日間を過ごすこのツアーにこれからも参加したいと思います。私の周りの人々にも、「忘れるな」と伝え続けます。スタッフの方々は準備等大変でしょうが、今後ともよろしく願います。
(梅津和子さん/福岡県支部)

先日はとても豊かな時間を過ごすことができました。マスコミの「特別番組」では震災の日だけが非日常のように取り上げられますが、福島の方にとっては当時の生活の延長であることを思いました。笑顔が素敵なお方々にお会いでき、お話をうかがうことができ、おもてなしをしていただき、こちらこそ感謝しています。ありがとうございました。
(小崎朋子さん/大阪府支部)

★物販@愛知大会に向けて★～第55回全国大会・第18回学術集会 被災地障害者作業所等製品販売事業～
2019年8月30日(金)、31日(土)、名古屋国際会議場にて全国大会・学術集会が、開催されます。

東日本大震災復興支援委員会では、今年度も岩手・宮城・福島の事業所より製品をお預かりし、大会運営委員・協会事務局の皆さま、そして全国の仲間の協力を得て、物販を行う予定です。

7回目の取り組みとなりますが、今回もそれぞれの地域の様子をお伝えするなど「語りながら」の販売で、東北の地や東北の人たちを身近に感じていただけたらと願っております。

販売ブースへのお立ち寄りも、勿論、大歓迎ですが、ご協力いただける方も大歓迎。「被災地のことは、よく分からないけど、気になるなあ。何となく何かできることがある…かも」といった感じでも大丈夫です！

販売協力員(ボランティア)募集など、詳細は本協会WEBサイトでご案内の予定です。次号もご参照ください。

【ご意見・ご感想をお寄せください】

本紙では被災した各地の仲間へのメッセージ及び被災地からの情報発信など、相互交流ができる紙面づくりを目指しております。

FAX もしくは E-mail: office@japsw.or.jp で皆さまのお声をお聞かせください。

★題名に「PSW にゆうすについて」とご記入ください★

第40号 2019年5月15日発行

編集: 東日本大震災復興支援委員会

発行: 公益社団法人 日本精神保健福祉士協会

〒160-0015 東京都新宿区大京町 23-3 四谷オーキッドビル 7F

TEL. 03-5366-3152 FAX. 03-5366-2993

★URL: <http://www.japsw.or.jp/>

★東日本大震災復興支援サイト

<http://www.japsw.or.jp/ugoki/f-jyoho.html>